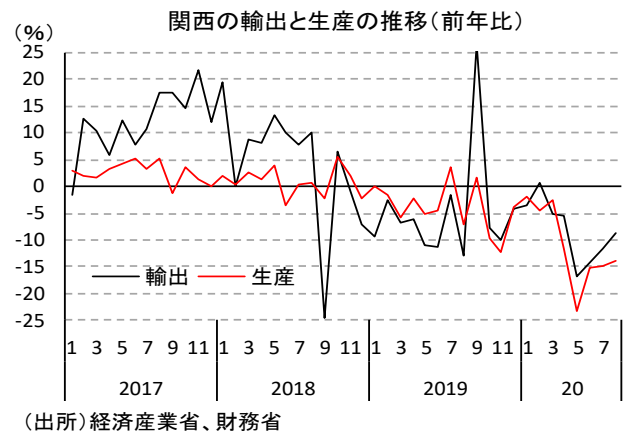
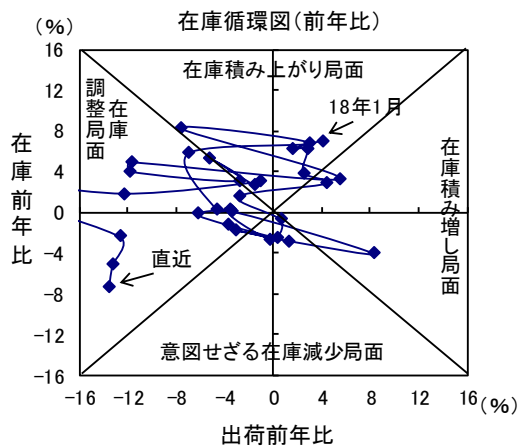
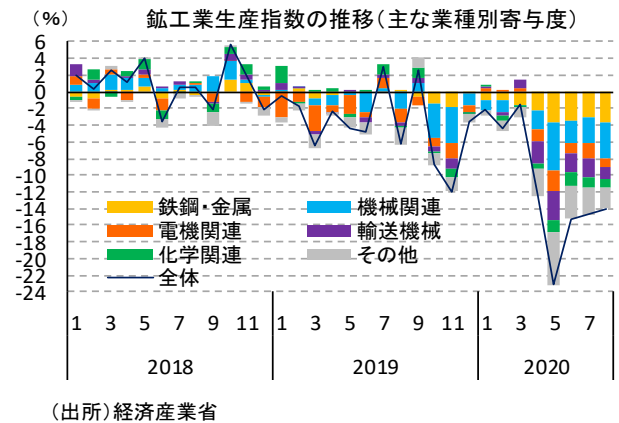
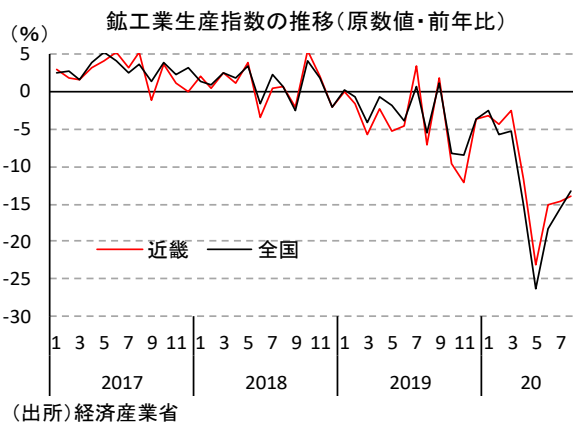


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（20年8月）】

- 20年8月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は10か月連続の減少となった。5月を底に緩やかに回復しているものの、業種別の推移では、機械や電機関連など幅広い業種で減少がみられる。
- 在庫循環の動きをみると、前月に続き、積み上がった在庫を減らすために、意図的に減産を行う「在庫調整局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在する。直近の動きでは、新型コロナの影響は依然続いているものの、両者ともに5月を底に改善傾向がみられる。輸出に関しては、世界的な生産の回復の動きに連動し、今後も回復傾向が続く見込みである。それに伴い、生産も当面は改善傾向が続くとみられる。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。